

と同等の流量に抑える計画として、開発区域内の駐車場に、地下貯留浸透方式の調整池などの設置を開発業者と協議中である。この方式は、一時的に貯めて時間をかけ地下に浸透させる方式で洪水調節のためである。

小林議員のその他の質問事項

。火力協力金の使途
。能代産業廃棄物処理センターに係る問題



渡辺 優子
(公明党)

AED (自動体外式除細動器)

質 AEDは心肺停止患者の心臓に、電気ショックを与え、心臓の動きを正常に戻す装置である。確実に効果を発揮しているこの装置を公共の施設、全小学校に設置すべき。

答 急病者対策や学校での不測の事態に備え、一人でも多くの市民の大切な命を救うため、公共施設や全ての小中学校にAEDを設置することは、人命尊重の観点からもその必要性は十分認識している。今後は、救命体制の強化のため、施設の利用状況、立地環境等を勘案しながら、AED導入を計画的に進めていきたい。

肺炎球菌ワクチンの 予防接種

質 死亡原因の第4位は肺炎。特に高齢者は肺炎を起こしやすく、重症化しやすい。その原因菌の半数近くが肺炎球菌である。高齢者を守るために、ワクチン接種に助成をすべき。

答 ワクチンは肺炎球菌に有効的な免疫ができるとされているが、一方で効果的な接種時期の判断が難しいことがある。国ではワクチン接種の有効性・安全性に関する調査や医療現場での必要性など検討が続けられていることから、市でも被接種者の安全を考え、助成を含めた接種の実施は、国の動向を注視していきたい。

渡辺議員のその他の質問事項

。指定管理者制度
。住宅用火災警報器の設置



薩摩 博
(よねしろ会)

住吉町住宅建てかえ

質 住宅産業は、地域経済に大きな波及効果があり、建設スペースの問題、市街地活性化の観点から耐火構

造の早期建設を検討すべき。また、松原ホーム跡地利用については。

答 建てかえは、入居者に早期に安全でよりよい居住環境の提供が最優先課題。中心市街地で利便性が高い現在地に150戸を土地の有効利用を図り、耐火構造で建設するとともに木を取り入れた建物を検討している。松原ホームの跡地利用は来年度以降の公営住宅ストック総合活用計画策定の際、木造の公営住宅を検討したい。

地域の生活バス路線

質 高齢化が一段と進む中で、県は生活バス補助制度の見直しを行うとしている。交通弱者対策、足の確保対策が重要課題では。

答 今後の公共交通のあり方について、多方面からの検討、協議を行う庁内検討会議を設置するため、関係各課による準備会を開催した。今後は庁内での検討を重ね、広く市民や事業者の参画を得ながら市の交通体系がどうあるべきかを話し合う場を設け、県の見直し時期の22年度までに方向性を打ち出していきたい。

薩摩議員のその他の質問事項

。技術開発センター
。医療保険制度改正による特定健診

イオン開発許可の 第三者機関のチェック

質 開発許可は能代市の権限であるが県の開発許可に関しては、第三者機関の秋田県開発審査会でチェックが行われる。排水、交通渋滞等第三者機関のチェックの必要性は。

答 市では、関係部局が多岐にわたる開発行為は、他の行政分野と連絡調整を図る必要があることから、副市長を会長に各部長等で組織した土地利用調整会議の中で、開発行為に係る申請に対し審査を行っている。イオン出店に限らず開発許可に関しては、この調整会議で、チェック機能を果たしていると考えている。

住吉町住宅建替基本計画

質 基本的な計画が決まっている中、PFI方式で行うメリットはあるのか。また、工期が7、8年案があるがPFI方式によりもっと工期の短縮が可能ではないのか。

答 PFI方式は、民間の創意工夫やノウハウを活用したコスト縮減で財政負担の軽減やサービス向上を図る有効な手法と考える。実施方針等



島 貞一郎
(大河・生々・みどりの会連合)